



発生動向等サーベイランス情報

国内で麻しん(はしか)の報告が増えています！

海外で麻しんに感染し、国内に持ち込まれる事例が増えています。

自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも、ワクチン接種を検討しましょう！

潜伏期間：10～12日

※流行地域から帰国後2週間程度は、体調の変化に注意が必要です。

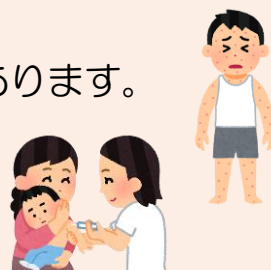
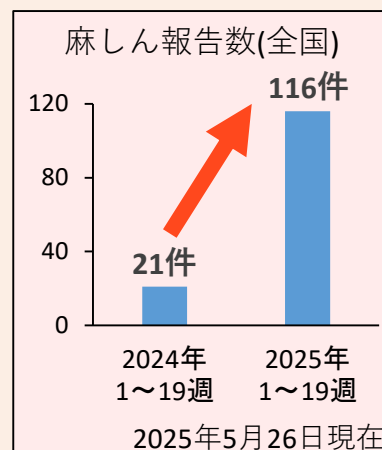
症状：発熱、咳、鼻水、発疹等

肺炎や脳炎を合併し、最悪の場合死に至ることもあります。

感染経路：空気感染、接触感染、飛沫感染

※手洗いやマスクだけでは予防できません！

感染対策：麻しん含有ワクチンの2回接種



▼麻しんとは
(栃木県HP)



感染対策のポイント

シリーズ12:ワクチン接種者も要注意！

麻疹ワクチンは、数あるワクチンの中でも非常に効果の高いものです。現在、2回の接種が推奨されていますが、過去には1回接種となっていた時期（主に1972年10月1日～1990年4月1日生まれ）があります。1回接種でも効果はあるのですが、不十分であるリスクがあります。実際、麻疹の流行期には、1回接種の方が麻疹を発症することは稀ではありません。これらの世代では追加接種という選択肢もあるので、興味がある方はかかりつけ医等に相談してみましょう。また、2回接種を行った世代でも、稀にごく軽症の麻疹を発症することがありますが、この場合には重症化しにくく、周囲への感染性も低いとされています。

感染症専門家からのアドバイス



妊娠中に麻疹に罹患すると流産や早産のリスクが高まることが指摘されていますが、麻疹ワクチンは、ウイルスそのものを利用した生ワクチンであるため、妊娠中には接種できません(免疫不全のある方も同様です)。ワクチン接種を検討している方は、妊娠前に接種できるようにスケジュールを考える必要があります。